

市長メッセージ『市民の皆様へ』

去る11月20日、砂川市立病院の病棟に勤務する看護師1名に、新型コロナウイルス感染症が疑われたことから、同日、院内においてPCR検査を行った結果、陽性が確認されました。このことは、同院のホームページや報道機関を通じてお知らせしたところであります。

感染した看護師は、現在、砂川市立病院に入院しており、勤務中は手指消毒やマスク、防護服の着用など院内感染対策を適切に行っていましたので、濃厚接触者はありませんでしたが、当該病棟の患者さんや関係職員95名全員について、PCR検査を行った結果、全員の陰性を確認しております。

砂川市立病院は第2種感染症病院の指定を受けており、医師・看護師・医療技術者等が連日新型コロナウイルス感染症対策の最前線で闘っています。新型コロナウイルスは飛沫感染と接触感染と言われておりますが、市民の皆様におかれましては、新北海道スタイルでのマスク着用、手指消毒、こまめな手洗い、3密を避けることを心がけていただくとともに、感染された方やご家族のほか、感染症の拡大により誰もが感染するリスクのなか、命を救うために最前線で闘っている医療従事者などに対しての差別や誹謗・中傷などの行為をとることなく、冷静かつ思いやりの心をもっていただくようお願いいたします。

市では、今後も市民の皆様の健康と安全を第一に、保健所と連携を取りながら、この難局を乗り越えるべく全力を尽くしてまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

令和2年11月24日
砂川市長 善岡 雅文